

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名) : プラリペア (粉剤)
会社名 : 武藤商事
住所 : 和歌山県御坊市湯川町丸山77-1
担当者 : 武藤憲二
電話番号 : 0738-24-2062
FAX 番号 : 0738-24-1960
緊急連絡先 : 同上
改訂日 : 2022年9月1日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

GHS の分類に該当しない。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル、注意喚起語なし

特有の危険有害性

粉塵を発生させると粉塵爆発の危険性を有する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名または一般名	含有量 (%)	CAS 番号
ポリエチルメタクリレート	> 99	あり (社外秘)

4. 応急措置

- 吸入した場合
・十分うがいをして空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受ける。
呼吸がとまっている場合は、衣服をゆるめ呼吸気道を確保してから人工呼吸し、速やかに医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合
・汚染された衣類、靴を速やかに脱ぎ捨て直ちに石鹼水で洗い落とす。
痛み、皮膚刺激、発疹など異常を感じる場合は速やかに医師の診察を受ける。
- 眼に入った場合
・直ちに清浄な水で 15 分以上洗浄したのち、速やかに医師の診察を受ける。
洗浄の際、眼球、まぶたの隅々まで水が良く行き渡るように洗う。
- 飲み込んだ場合
・吐き出し、よくうがいをしたあと速やかに医師の診察を受ける。
・意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤
・粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂、霧状の水
- 使ってはならない消火剤
・棒状の水

特有の危険有害性
特有の消火方法

- ・燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので吸入を避ける。
 - ・火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。泡消火剤を用いて、空気を遮断することが有効である。
 - ・消火作業は可能な限り風上から行い、関係者以外は安全な場所に退避させる。
 - ・延焼を防ぐため周囲の設備に散水して冷却する。
 - ・移動可能な容器は速やかに移動する。
 - ・消火の為の放水等により、製品もしくは化学物質が河川等に流出しないよう適切な措置を行う。
- 消火活動を行う者の保護
- ・消火作業では、適切な保護具（手袋、保護眼鏡、防毒マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

- ・漏出した場所の換気を良くし、風下の人を退避させる。
- 作業の際には適切な保護具を着用し、粉末等が皮膚に付着したり粉塵を吸ったりしないようにする。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法
及び機材：

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

[少量の場合]

- ・掃除機で吸い取るか、または、粉塵がたたないように掻き集め回収する。残りをウエス・雑巾等でよく拭き取る。

[多量の場合]

- ・盛土で囲うなど漏出物が河川・水路などに流れ込まない措置をとってから、密閉できる容器に回収する。その際には火花を発生しない安全な器具を使用する事が望ましい。
- その後、少量の場合と同様の処置を行う。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

[技術的対策]

- ・取扱いは換気のよい場所で行い、取扱い後は手洗い及びうがいを十分にします。
- 取扱い中は皮膚に触れないように注意し、保護手袋、防塵マスク、ゴーグル型保護眼鏡などの保護具を着用する。

[局所排気・全体換気]

- ・取扱い作業場所には局所排気設備を設けて粉塵の飛散を防止する。

[注意事項]

- ・みだりに粉塵等が発生しないように取扱う。

[安全取扱注意事項]

- ・着火源があると粉塵爆発の恐れがあるので、静電気対策を十分に行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。電気火花を発生させないように電気設備は防爆構造にする。

- ・硬化体を研磨する際には、粉塵を吸入しない。

- ・他の製品と混用しない。

保管

[安全な保管条件]

- ・容器を密封して一定の換気の良い冷暗所に保管する。火気厳禁、水漏れ厳禁。

[安全な容器包装材料]

- ・推奨：(内装)=ポリエチレン袋、(外装)=クラフト紙袋

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	・ACGIH TLV (2001) : 10mg/m ³ (粒子状物質(不溶性)、他に分類できない粒子状物質)
設備対策	・できるだけ密閉された装置、容器を使用する。また、局所排気装置、取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄用設備を設ける。
管理濃度	・設定されていない。
保護具	[呼吸器の保護具]: 防塵マスク [手の保護具]: 保護手袋 [目の保護具]: 側板付き保護眼鏡又はゴーグル型保護眼鏡 [皮膚及び身体の保護具]: 保護服
衛生対策	・取扱い後は、手洗い及びうがいを十分する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	粉体
色	ピンク色
臭い	ほとんど無し
融点/凝固点	該当せず
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当せず
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に不溶。多くの有機溶剤に可溶。
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	1.1~1.2
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の実験条件において安定
化学的安定性	通常の実験条件において安定
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	燃焼生成ガス(一酸化炭素、二酸化炭素)

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
------	-------

皮膚腐食性／皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	・有毒ガス発生の恐れがあるので自社での焼却処分はしない。 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	・容器は内容物を使い切ってから廃棄する。清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

・荷積み、荷降ろしの際には、容器に漏れがないことを確かめ、容器、内袋などの損傷がないように取扱う。転倒、落下、横積み厳禁。

製品の温度が上昇しないように、通気の良い状態で輸送する。

その他輸送上の注意事項、禁止事項については、適用法規の定めに従う。

国連番号	該当しない。
国連分類	国連の基準で評価し、危険物に該当しない。
容器等級	該当しない。
海洋汚染物質	該当しない。
国際規制	海上規制情報：規制には該当しない。 航空規制情報：規制には該当しない。
国内規制	陸上規制情報：規制には該当しない。 海上規制情報：規制には該当しない。 航空規制情報：規制には該当しない。

15. 適用法令

労働安全衛生法	通知対象物に該当しない。
PRTR法	対象物質なし

毒物及び劇物取締法 対象物質なし
消防法 指定可燃物の合成樹脂類(その他のもの)

16. その他の情報

*この SDS は現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分ご注意ください。

*記載のデータや危険性、有害性の評価等に関して、いかなる保証もなすものではありません。